

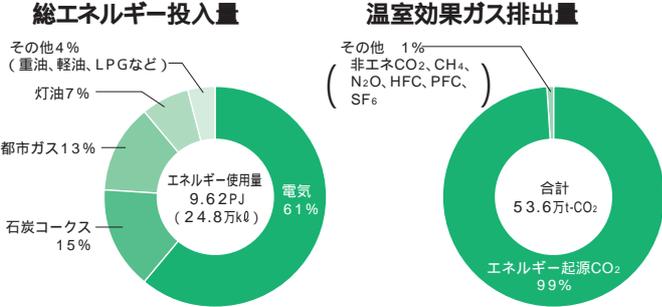
# 地球温暖化の防止

## 温室効果ガスの削減活動

### 2007年度の目標

- ・ CO<sub>2</sub>排出原単位( CO<sub>2</sub>排出量 / 内作生産高).....前年度比 1%削減
- ・ CO<sub>2</sub>排出量( クボタグループ総排出量) ..... 1990年度以下
- ・ 物流CO<sub>2</sub>排出原単位( CO<sub>2</sub>排出量 / 輸送トンキロ) .....前年度比 1%削減

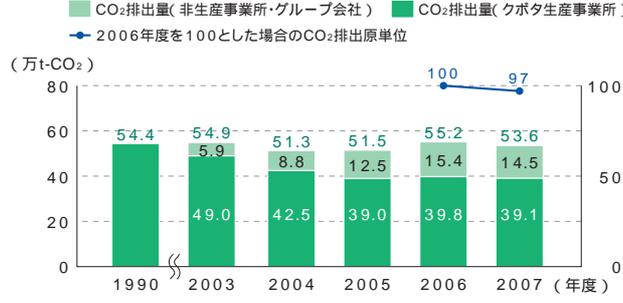
### 総エネルギー投入量と温室効果ガス排出量



(熱量の単位 PJ=10<sup>15</sup>J)  
上図の数値以外に太陽光発電量(5万kWh)があります。

総エネルギー投入量は9.62PJでした。温室効果ガス排出量は53.6万t-CO<sub>2</sub>で、1990年度比1%減、CO<sub>2</sub>排出原単位は前年度比3%減となり、目標を達成しました。これは、コンプレッサーの効率的運用、設備導入・更新時における高効率機器の導入、塗装乾燥炉の灯油からガスへの燃料転換、サイクルタイムの短縮等の省エネ

### 温室効果ガス排出量とCO<sub>2</sub>排出原単位の推移



2003年度以降は非生産事業所およびグループ会社を集計範囲に加え、対象事業所数を段階的に拡大しています。本年度より、2003年12月に分社独立した住宅建材部門のCO<sub>2</sub>排出量を除いており、その結果、1990年度および2003年度のCO<sub>2</sub>排出量が過去に開示した値よりも小さくなっています。

ギー対策などによります。温室効果ガス排出量の99%はエネルギー起源CO<sub>2</sub>です。また、コージェネレーションによる自家発電量は209万kWhで、廃熱を有効利用しています。

### 物流におけるCO<sub>2</sub>排出量 (荷主としての貨物輸送量とCO<sub>2</sub>排出量)

国内における荷主としての貨物輸送量は4.1億トンキロで、その貨物輸送によるCO<sub>2</sub>排出量は4.6万t-CO<sub>2</sub>となりました。また、物流CO<sub>2</sub>排出原単位は、前年度比で2%低減しました。

